



CONTENTS

特集 ラブアース・
クリーンアップ2019 …… 表紙

安全・適正就業促進大会 …………… 2

安全対策 …………… 4

7区通信／会員紹介 …………… 5

就業先情報 …………… 9

わが町ぶらり散歩 …………… 11

DonDon紹介／
互助会だより／お知らせ …………… 裏表紙

ラブアース・ クリーンアップ2019

令和元年
6月23日(日)

各区でラブアース・クリーンアップ2019に参加しました。

ラブアース・クリーンアップは、平成4年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議イン九州」を契機に、この会議のテーマである“地球環境と地域行動”の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、力を合わせて始めた地域環境美化活動です。

早良



東



西



博多



城南



南



中央



公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

安全・適正就業 促進大会

東区 日時:7月22日(月) 午前10時～
場所:なみきスクエア(東市民センター)
会員参加人数:83名

来賓に桑田常務理事他2名を迎え、小林委員長の挨拶の後、安全担当の菊堂副委員長より事故の要因と対応についての説明がありました。

特別講演

- ①『生活安全講話:だまされんばい悪質商法』
福岡市消費生活センター 安全分野専門員 古野 和之氏
- ②『交通安全講話:高齢者の交通事故防止』
東警察署交通管理官 警視 山本 幸氏



博多区

日時:7月26日(金) 午後1時～
場所:博多市民センターホール
会員参加人数:82名

- ①古賀委員長及び桑田常務理事挨拶
- ②安全実績・災害事例と対策について(川島安全担当)
- ③交通安全講習会(JAF福岡支部)
- ④シルバー合唱団によるコーラス
- ⑤アマチュアバンド(ベンチャーズ&オールディ)による演奏
- ⑥抽選会



南区

日時:7月24日(水) 午後1時30分～
場所:南出張所2F会議室
会員参加人数:30名

- ①安村委員長、来賓渡辺監事挨拶
- ②安全・適正就業児嶋会員、事故状況について
- ③講演『高齢者の事故について』
南警察署 交通課 係長 光延氏
- ④事故事例について、防止討議
※別途、令和2年2月開催予定



城南区

日時:7月24日(水) 午前10時～
場所:城南市民センター
会員参加人数:80名

- ① 橋本委員長挨拶及び来賓代表挨拶
- ② 事業報告及び事故発生状況報告
- ③ 『運動から始める健康講座 パート2』
～みんなでロコトレしましょう～
講師 松原 建史 健康運動指導士



早良区

日時:7月19日(金) 午前10時～
場所:早良市民センター
会員参加人数:99名

主な議題

- ① 波多江委員長、桑田常務理事他挨拶
- ② ワンポイント講話:(株)大塚製薬工場 小早川裕之様
- ③ 講演『熱中症は予防が大事』
講師 福岡市消防局 救急課 市民啓発係 高向誠様



西区

日時:7月8日(月) 午前10時～
場所:西市民センター 3階会議室
会員参加人数:120名

- ① 来賓挨拶 桑田常務、江口安全担当理事、渡部監事
- ② 西出張所生島委員長挨拶及びセンター現状報告
柴田安全担当より事故報告並びに
安全就業推進状況報告
- ③ 講演
『高齢者の事故防止について』
西警察署交通課 渡邊賢治警部補ギター抱えての講演
『熱中症対策・健康管理について』
(株)大塚製薬工場 小早川弘之氏
- ④ ロコモ体操
- ⑤ 安全宣言 刈払班長松尾治生(力強い安全就業宣言)



■ 中央区 ……令和2年2月開催予定

事故防止に 努めましょう!!

今年度は事故が多発しています。
特に就業途上、帰宅途上の自転車事故や自動車
事故が目立っています。
事例(一部改変)を紹介しますので、どうすれば事
故防止ができたかを考えてみましょう。



事例1

人の混雑や物が置かれて狭くなった道路。
無理に通行しようとして転倒、骨折した。

➔ 狭い道路では自転車から降りる。

事例2

慣れた道だったが暗くて段差や道路状況が分からず
ハンドルを取られて転倒、頭部の打撲・裂傷を負った。

➔ 慣れた道ほど気をつける。



事例3

片手運転、ながら運転、バランス崩し転倒、
顔面裂傷を負った。

➔ 片手運転、ながら運転は絶対にしない。

事例4

自転車通行帯を右側通行し、交差点の右手
から来た自動車にはねられ肋骨を骨折した。

➔ 自転車は右側通行してはいけません。



事例5

バックのつもりがシフトレバー操作ミスで勢い
よく前進し、ポールに追突した。

➔ 操作ミスは命取り、よく確認して安全運転。

事例6

徐行運転はしていたが左側を走ってきた自転車に気が付
かず左折の際に接触し、自転車運転者を負傷させた。

➔ 死角に注意、思い込まず目視で確認。



東区 ひがしく

駐輪場リーダー会議



5月24日(金)10時から駐輪場リーダー会議が東出張所会議室で開催され、東区内6駐輪場のリーダー、サブ

リーダー14名が出席しました。

小林委員長の挨拶の後、東部業務センターの廃止で出張所が担当するようになり、担当の川崎職員と公共担当の交代(秋吉会員から田中会員)が紹介された後、出席者の自己紹介がありました。

4月にリーダー、サブリーダーの交代があり、駐輪場における対応の確認事項として現金領収書と払込券領収書、減免申請、長期駐輪自転車などの対応について協議がされました。また、駐輪場実務研修、防災危機研修の実施を行うように要請がありました。

最後出席者による意見交換で閉会しました。

地域懇談会



6月7日(金)10時から北部ブロックの地域懇談会がコミセン和白で開催されました。

和白東A、和白東B、和白、美和台A・三苦、美和台B、奈多、西戸崎の7地域の会員22名が参加しました。

小林委員長のあいさつと事業活動報告、古賀副委員長より女性就業会員の活動状況、菊堂副委員長から事故発生状況の説明、石松就業開拓専門員より派遣業務の現況等の説明がありました。続いて、各班長の紹介を兼ねた自己紹介の後、出席会員から就業などの質疑応答(情報交換)が活発に行われ、閉会しました。

他の地区(中部A、中部B、南部)も順次開催されますので、会員多数の参加をお願いします。

広報委員 今林 隆雄

博多区 はかたく

ゴルフ大会の開催



6月3日(月)玄海ゴルフクラブで第2回目のゴルフ大会を開催しました。

今回は名門コースとの評判もあり、ゴルフ仲間がいなくなっただけでなくゴルフをやめていた方や高齢になってやめていた方も参加され、12名募集のところ24名の方が参加されました。

当日は曇りがちでしたがおおむね晴天で、みなさん



気持ちよくプレーを楽しむことができました。なお、優勝者は高野和彦会員でした。

次回以降は来年1月13日の成人の日で大岳ショートコースで、また、5月か6月に

は久山カントリーで開催する予定です。今回の参加者以外にも新たに参加される方をお待ちしていますので、ご希望の方は博多出張所までご連絡ください。

山笠ちびっこスケッチ大会をサポート

7月に入ると博多の街は山笠一色に染まります。今年も市内14カ所に絢爛豪華な飾り山が公開され、7月1日の注連下ろしから15日の勇壮な追い山までの伝統行事が行われました。



博多駅前の十五番山笠では期間中、第47回山笠ちびっこスケッチ大会が開催され、シルバー人材センターから主催者(博多駅商店連合会)の依頼を受けて4名の会員がこれをサポートしました。



広報委員 白石 寛治

中央区 ちゅうおうく

生活支援サービス従事者研修会



中央区の生活支援サービス従事登録者研修会が、6月21日(金)9時30分から中央出張所で13名の参加で開催されました。

生活支援サービスとは、「介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービス」のことで、福岡市シルバー人材センターは介護保険の指定事業所であります。

ヘルパー資格を有する会員や生活支援訪問サービス従事者が、地域包括支援センターとの連携のもと、「要支援1・2」の認定を受けた人の訪問型サービスを提供しております。

研修会の冒頭に渡辺委員長、櫻井専任担当理事、堤就業機会創出課長より挨拶があり、それぞれ「高齢化社会の到来とともに、生活支援サービスがますます重要になってくる」との話がありました。



これまでの定例の研修会では、この生活支援サービスに関する必要な知識の取得に努めて来ましたが、今回はとくにMCI(軽度認知障害)の特徴と、アルツハイマー型認知症との違いなどについて、今後入居できる施設の特徴や入居資格、費用などについて詳しい紹介がありました。

研修会終了後は登録者による会議が開催され、川野生活支援事業所責任者より、現状と仕事の流れ並びに就業上の注意事項についての説明がありました。

最後に既従事者の体験談が発表され、「要支援者の特殊な事情に対する理解と配慮が不可欠だ」との話があり、出席者より同感との声が上がっていました。

広報委員 大津 英世

南区 みなみく

会員拡大出張説明会「若久園」にて



若久園は、60歳以上が利用でき、健康で生活を営むために娯楽施設や入浴サービスが無料で利用できる施設です。

7月10日(水)午後2時から22名の施設利用者が参加し、安村委員長挨拶のあと、会員拡大担当鳴岡会員が、シルバー入会と就業開拓について詳細にわかり説明をしました。

引き続き、若久園事務所前において、入会と就業開拓について36名の利用者と個別面談し、内6名が入会希望書に記名しました。

会員拡大出張説明会は2回目の試みでしたが、前回に続き「目的を達成」つつがなく終わることが出来ました。

駐輪場リーダー会議



7月10日(水)午後2時から南出張所2階会議室において、リーダー・サブリーダー11名が参加して駐輪場

担当右田会員の司会で会議が行われました。

- 来年度指定管理者応募
- 小口現金領収書の取り扱い
- 自転車の事故等々

について、委細に説明がありました。

笹原駅西駐輪場では、ポール間に6台駐車を5台に減らしたことにより、お客様自身が取出せるようになり、事故防止になっていると野村リーダーは、話をされていました。

最後に、安村委員長の挨拶があり会議は終了しました。

広報委員 水田 國生

城南区 じょうなんく

フリーマーケット&マルシェ

5月3日(金)・4日(土)の2日間、午前10時からフリーマーケット&マルシェが「DonDon」で開催されました。



店先では会員が声掛けをし、11組出店の店内には古着・小物・提げ物・雑貨・食品などが並べられています。「安くて・良い」と好評で大勢のお客様で賑わい、2日間で延べ400名の来店がありました。

2日目は、出品された糸島産の旬のタケノコにお客様が殺到し、午前中で売り切れました。

本年は「博多どんたく」に合わせての開催となり、城南区役所広場に作られたステージ横に、シルバーの「DonDon」も出店し、100円コーヒーを販売しました。



春の交通安全県民運動に参加

5月10日(金)午後2時から、早良警察署主催の「春の交通安全県民運動」に早良区・城南区の各交通安全活動推進団体など総勢150名が集まり、西南学院大学百年館で開催されました。



シルバーは城南区から21名の会員が参加しました。

早良警察署宮原署長などの挨拶、各シミュレーター体験が開始されました。

- 自転車VR(ながらスマホや無灯火運転危険性の疑似体験)
 - 自転車シミュレーター(安全な乗り方の学習)
 - 歩行者シミュレーター(安全な横断方法の疑似体験)
 - 動画KYT(動画による危険予知体験)
 - 飲酒運転撲滅教育用VR
(飲酒運転についての疑似体験学習)
 - 飲酒体験ゴーグル(飲酒した状態を体験)
- 等が展示され、ゲーム感覚で体験できる各コーナーに、参加者は列をなしていました。

広報委員 小寺 勇吉

早良区 さわらく

揺動式刈払機によるデモンストレーション



室見川河川敷において、7月3日(水)午後1時半よりゼノアの「SGC-A バリカル」という商品のデモンストレーションが九州商機(株)の担当者によって行われました。これは、「石や異物の飛散が圧倒的に少ない、揺動式(バリカン方式)」のため、「石の多い場所、車の多い道路周辺、人の多い公園などで威力を発揮する」との事です。

本部より役員・職員の方、早良出張所から波多江委員長はじめ刈払班担当者他、城南出張所の参加があり

ました。デモンストレーション後は、刈払班担当者が次々と実際に機械を操作して感触を確かめていました。

石飛ばし事故が減り、全体の事故減少に繋がればとの皆さんの期待がうかがえます。

入会説明会

早良区重留の老人福祉センター早寿園研修室で7月10日(水)入会説明会が行われました。



入会希望者9名参加のもと、中野副委員長の挨拶後、シルバー人材センターの業務内容を中心に、ビデオ解説がありました。続いて同副委員長から「シルバー人材センター会員のしおり」をもとに又、馬場会員拡大担当より「入会までの流れ」を中心にそれぞれ説明があり、その後質疑応答が次々と活発に行われました。

この説明会の参加者は、7月25日(木)新入会員研修会に参加し登録手続き後、会員証・会員手帳の交付が行われます。

広報委員 金田 博保

西区 にしく

「パソコン教室」頑張れ!



主として高齢者のパソコンへの取り組みに、パソコン教室はその助っ人としての役割を大いに担ってきました。当センターでも久保代表

が中心になって「パソコン教室」を開設し取り組んできたところですが、ここに来て、パソコン、タブレット、スマホの普及と取扱いの浸透で受講者が減少傾向にあるようです。そのような中、姪浜教室では平成30年6月1日より伊藤会員を代表に新たなスタートを切りました。4月より業務センターの廃止で生島委員長は請負事業、公共事業と併せパソコン教室事業(独自事業)を含め、会員が一体となって取り組む姿勢を鮮明に打ち出しています。

パソコン事業の配分金改善の為にも、教室の生徒拡大、指導会員の補充(会員



拡大)策にも熱が入っていました。

第2回役員会開催

6月21日(金)に第2回役員会が開催されました。

本年の年度初めに生島委員長は、今年度の大目標として4項目挙げています。



その中の一つに「安全就業」があり、昨年度の事故発生多発の反省から、「限りなく事故ゼロを目指す、最多でも5件以内とする」とされていました。

ところが4、5月に既に2件の発生があり、何としても事故防止を願う意気込みが感じられ、出席者一同は、委員長の心意気に「安全がすべてに優先する」の言葉を改めて噛みしめたものと思います。



また、いま一つ「会員拡大」があり、新しい試みとして、新入会員説明会を従来は出張所会議室で開催されていましたが、この度、老人福祉センター「福寿園」でも開催したらどうかと、折衝に入るとのことでした。大いに期待されることです。

広報委員 岡崎 幸雄

会員紹介



内山 淳子さん

(早良区)

【入会から研修まで】

平成30年7月に、それまでの仕事を辞めたのをきっかけに、シルバー人材センターに入会しました。入会してからは、料理研修や福祉関係の研修などなかなか受けられないユニークな研修がたくさんあり驚きました。その中で友達ができ交流を楽しんでいます。

【就業】

入会后さっそく家事援助サービスの仕事をいただき、お客様のお宅の掃除や調理などを今も続けています。お客様から「家が綺麗になって気持ちが良い」「料理が美味しかった、完食したよ」など、嬉しい言葉をいただき、

まだまだ社会の一員として仕事ができると感じています。そして、これまでの人生経験を生かして、今の年齢だからこそ、出来ることがあることを実感しています。



一件一件の仕事大切に、お客様との信頼関係を大事にし、お客様が安心して利用できるシルバー人材センターのイメージをこわさないよう、これからもやっていきたいと思っています。

【趣味】

好きな音楽を教える仕事も続けながら、シルバー人材センターの仕事も続け、どちらも今までにない働く喜びとやりがいを感じています。

内山さんは、若い時から音楽教室運営の会社で仕事をしていた関係で、現在は自宅などで先生として、ピアノや歌を3歳から70歳代までの方々に教えておられます。

広報委員 金田 博保

就業先情報

株式会社アクタス様(中央区)

(株)アクタス様へ感謝状贈呈

平成30年度協力事業所顕彰要綱に基づき、(株)アクタス様へ感謝状を贈呈致しました。

マンション管理のエキスパートである(株)アクタスは、福岡市中央区を中心に約30軒のマンション管理業務を受託しています。



今回顕彰の理由は、現在12箇所のレストラン共用部分の清掃に18名の会員が就業しており、シルバー人材センターの特殊性もよくご理解いただき、その就業環境も整っていることであります。

6月13日(金)の贈

呈式では、同社へ桑田常務理事より感謝状と記念品が贈呈されました。

贈呈式の後で、取締役の宮川様は「アジアが誇る都市として成長を続ける福岡市で、生活・機能・利便性などの全ての面で、「調和」と「ステータス」にふさわしいマンション管理を目指している」とのお話がありました。



広報委員 大津 英世

社会福祉法人「福岡白百合会」花畑ホーム様(南区)



社会福祉法人「福岡白百合会」花畑ホームは、油山の中腹で緑に囲まれ心安らぐ環境の中にあります。

「福岡白百合会」花畑ホームは、昭和48年4月に開園された特別養護老人ホームです。

理念は、利用者が家庭的な雰囲気の中で、適切な介護と看護が受けられ、安心して充実した生活が

でき、職員自ら自分の家族が利用したいと思えるような施設づくりに専念しています。

「花畑ホーム」には、平成14年から衣類の洗濯と収納と刈払作業。「第2花畑ホーム」には、平成24年から清掃、衣類の洗濯と収納で就業しております。

桑田常務理事から、長期にわたりシルバー人材センターご利用に感謝の言葉を述べられ、感謝状と記念品が贈呈されました。

施設長の有野様からは、「施設の理念を理解して仕事に取り組んで頂き大変助かっています」と、お言葉をいただきました。



広報委員 水田 國生

株式会社マイマイ興産様(城南区)



6月14日(金)にマイマイ興産(マイマイスクール 笹丘を運営)を訪問し、桑田常務理事から協力事業所として感謝状を贈呈しました。

マイマイの名は「一步一步安全に、確実に前進」が由来だそうです。「高齢者活躍の現在、高齢者講習や適性検査が忙しく、受講は3ヶ月待ちの状況」とのお話がありました。

シルバーでは駐輪場整理・駐車場整理を主に、建物周りの除草や樹木の水やりに延べ約30名の会員が就業しています。

専務の目野様から「会員の皆さんは現場で良く活躍されています」とのお言葉をいただきました。

桑田常務から日頃のお礼を述べ、少子高齢化に於けるシルバー人材センターの役割と「請負から派遣への移行が増えている」現状をお話しさせていただきました。



広報委員 小寺 勇吉

令和元年度 実績報告

会員数	7,097名
男性	4,411名
女性	2,686名

就業者数	4,233名
就業率	59.6%
事業収入	5億7272万円

(令和元年6月末現在)

令和元年度 事故発生状況

傷害事故	7件
賠償事故	7件
自動車事故	4件
合計	18件 (前年同月比+6件)

(令和元年6月末現在)

今年度6月末までの事故発生総件数は18件で、昨年度の同時期の発生件数を6件も上回っています。これは非常事態と言わざるを得ません。

チームで作業をする時、不安定、不安全な状態があればお互いに気を付けて声を掛け合い、注意を促してください。一人でお仕事をする時は、作業前後の周囲の安全確認を必ず行ってください。また、就業人数にかかわらず、発注者の方に作業上の留意点を必ず

確認し、安全作業を心掛けてください。就業途上の自転車運転はルールを守ってください。

会員の皆様お一人お一人が危険予知と安全意識を強く持つことで事故は確実に防ぐことができます。昔から言われています。注意一秒、怪我一生!!

わが町ぶらり散歩

～城南区鳥飼の歴史～ 城南区

69

城南区はその名が示す様に福岡城跡の南西約7kmの所から、南方向に広がっています。

昔、城南区役所辺りは海の中であったことは以前にも記しました。この城南区役所の建物の西50m先に「シルバー人材センター城南出張所」があります。その隣に、各催し物で紹介した「きんしゃい城南DonDon」があり、新入会員説明会が毎月2回行われています。



ここ「城南DonDon」から北約1kmの所に鳥飼小学校があります。この地域一帯の地下には石炭層があり、西新炭坑・姪浜炭坑・福豊(今の別府)炭鉱、田島炭坑(今のイオンとマイマイスクールのある所)、それに鳥飼炭坑があり、明治20年代頃から石炭採掘がはじまりました。しかし、第一次世界大戦後石炭価格の下落や落盤事故が続ぎ、昭和3年頃迄に閉山しました。



鳥飼小学校は、このボタ山跡地に、職員や生徒が一緒になってローラを引き整地し、昭和27年4月に草ヶ江小学校から独立して開校しました。

この鳥飼小学校の約700m東にシルバーが管理している福岡市の鳥飼自転車保管所がありますが、そのすぐ北側に樋井川を横切る「塩屋橋」があります。



昔、海に面し、塩を作る小屋が並んでいたことがその名の由来と言われています。

この地は、蒙古襲来「元寇の役」では2万を超す蒙古の大軍に菊池武房、竹崎季長などの武将が激しく応戦し、歴史の本にも「蒙古襲来絵詞」の合戦シーンが挿絵されています。



出典:「蒙古襲来絵詞」

日頃、何気なく通り過ぎてしまう橋ですが、この「塩屋橋」が歴史的出来事の名残を偲ばせています。

時を超え、史実を秘める「塩屋橋」。感慨深いものがあります。



参考文献:「鳥飼の歴史」鳥飼公民館 発行

広報委員 小寺 勇吉

DonDon紹介



3年目を迎えた、会員自らのアイデアで運営するコミュニティ拠点「きんしゃい城南DonDon」は、カフェの運営や手芸品などの展示・販売のほか、四季折々のイベントや講座を開催し、地域との交流を深めています。

令和になって初めての夏、色とりどりの折り紙で飾りつけられた七夕の笹飾りが店内に登場。短冊には、お客様のいろいろな願いが込められています。

よく見ると、平和や健康を願うたくさんの短冊に交じって「麻雀 ロン・ツモ 勝てますように」の文字が

ありました。城南DonDonでは「健康マージャン講座」も毎月2回開催しています。

また、9月末まで「クールシェアスポット」としても開放中です。期間中5回来店すると、次回のコーヒーが無料になるキャンペーンも実施しています。お得に“涼める”お役立ちスポットに、是非お立ち寄りください。

※クールシェアとは、暑い夏にみんなで涼しい場所集まることで、家庭でのエアコン使用を減らして省エネを促進する福岡市の取り組みです。

互助会だより

10月24日(木)

歴史探訪「博多まち歩き」

会員の皆様、互助会行事に多数ご参加頂きます様、互助会業務委員一同心よりお待ちしております。



俳句(三句)

南区 高濱 章子

原爆忌たばしる水を天に向け

大降りの洗ひ去りたる蝉の声

太陽に仁王立ちしてラムネ飲む

※八月六日・八月九日は、原爆忌でございます。
再び戦争がないことを祈念致します。

会員手帳の配布について

この度、8月号のシルバーだよりに新しい会員手帳を同封してお配りしています。古い会員手帳については、各自で処分してください。よろしくお願いいたします。



「ふくおかシルバーだより」

発行元／公益社団法人福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目25-15

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org